

## 「松江市伝統文化芸術振興計画（案）」についての 意見募集の結果及び意見に対する市の考え方

### 1. 意見募集の結果について

|        |                                    |
|--------|------------------------------------|
| 募集期間   | 令和3年1月18日（月）～2月16日（火）              |
| 資料公開場所 | 市ホームページ、本庁・支所行政資料コーナー、本庁地域振興課、各公民館 |
| 意見提出者数 | 37名                                |
| 意見件数   | 137件                               |

### （参考）「松江の文化力を生かしたまちづくり条例（案）」意見募集の結果

|        |                       |
|--------|-----------------------|
| 募集期間   | 令和2年11月4日（水）～12月4日（金） |
| 意見提出者数 | 43名                   |
| 意見件数   | 134件                  |

### 2. 意見の概要と市の考え方

資料1のとおり（P1～P16）

### 3. パブリックコメント等を反映した計画の修正点について

- ・ P2 計画策定の趣旨を修正し、「松江の文化力」について追記した。
- ・ 「伝統文化芸術」という言葉が一般的な表現ではないため、P3 基本理念（七つの柱）の前に「伝統文化芸術とは」を加えた。
- ・ P8 計画の体系図を修正し、実施計画との関係性を示した。
- ・ P12 市民と共に育む文化芸術活動のめざすべき姿に「享受する人たち」を加えた。
- ・ 取組方針のうち【現状と課題】について、いただいたご意見をもとに追記した。
- ・ この他、語句の修正・追加及びP40以降例示を追記した。
- ・ 資料編として、検討委員会名簿やヒアリング等の結果概要を掲載した。

### 4. その他

- ・ 取組方針の【取組内容】にいただいたご意見は、実施計画の参考としたい。
- ・ 来年度は条例と振興計画を広く周知するとともに、伝統文化芸術活動の関係者や市民のご意見を伺いながら実施計画を策定し、実態にあわせ例示の内容についても一層充実させたい。

松江市伝統文化芸術振興計画（案）に対するご意見と対応

資料1

| 項目              | 番号 | ご意見   | 対応（案）  |
|-----------------|----|---|--|
| 表題              | 1  | 長いし、定義づけも為されていないので、「松江市文化振興計画」としておいて、中身で「伝統文化」「文化芸術」を定義して使用するのがよい。  | 本文の中で「伝統文化芸術」について解説を加えました。                                 |
| 表紙              | 2  | 市民がイメージしやすいキャッチフレーズがあると良い。<br>全体的に文字量が多く分かりにくいので、一番伝えたいこと、重要なこと、こうしていくべきということをキャッチフレーズで表現してはどうか。  | 貴重なご意見として承りました。  |
| 全体              | 3  | 主語がなく、実施主体が不明確な表現が多く見られる。   | 多くの方に当事者（自分ごと）として読み取っていただくことを期待し、この様な表現にしています。             |
|                 | 4  | 難しく感じた。特に意見はない。   | 貴重なご意見として承りました。  |
|                 | 5  | 近隣の他市町の団体と交流や連携を図って活動されている団体があると思う。市内だけでなく、近隣の他市町との団体等の連携の重要性や視点、広域的な取り組みなどについて、入れてはどうか。  | 重要な視点であると考えています。実施計画策定時の参考にします。                            |
| 計画策定の趣旨         | 6  | (1)「伝統・文化・芸術」と「伝統文化芸術」表現が統一されていない。<br>(2)あり方検討委員会を設置し、伝統文化芸術の保存、活用、継承について検討となっているが、推進は？   | (1)表現を統一しました。<br>(2)表現を改めました。                              |
|                 | 7  | 計画策定の趣旨において、「守り伝える」（保存・継承）のみが強調されている。「新たな価値」（創造）についても、まちづくりに生かすことを付け加えるべきだと考える。   | 表現を改めました。  |
|                 | 8  | 「心豊かになれる」を、もう少し具体的イメージまで言及したらどうか。例えば「温かい人とのふれあいがある」「松江に暮らしてよかったと思える」など  | 貴重なご意見として承りました。実施計画策定時の参考にします。                             |
| 基本理念<br>①文化財    | 9  | 「数多くの」の重複   | ご意見をふまえ、削除しました。  |
| 基本理念<br>③茶の湯    | 10 | 「伝統文化芸術」の重複<br>最初の「伝統文化芸術を育て、そして」はなくてもわかる。  | ご意見をふまえ、削除しました。  |
|                 | 11 | 本計画が策定されることは誠に重要であり、伝統文化を愛するものとして大変うれしく思う。<br>茶の道具の名品の保護と収集を（蒐集に）尽力しました。<br>→ 城主で通称不昧さんと呼ばれ親しまれていることから、茶の道具～尽力されました。                                      | 貴重なご意見として承りました。  |
|                 | 12 | 伝統文化芸術振興計画が策定されることは、誠にうれしい。<br>市民が自分のこととして積極的に関り、取り組んでゆく計画となるよう願っている。<br>茶道芸術を通し、建築、美術工芸や華道、書道(追加)<br>床の掛け軸など書は、美術工芸に含まれているかもしれないが、市民が自分事とするためにも記載してはどうか。 | 貴重なご意見として承りました。<br>自分のこととして認識していただく観点は非常に大切なご意見であると考えています。 |
| 基本理念<br>⑤文化芸術活動 | 13 | 「文化芸術活動」の重複<br>1行目「文化芸術活動に取り組み」は不要では？   | ご意見をふまえ、削除しました。  |
|                 | 14 | プラバホールの上に「市民活動センター」を加える   | ご意見をふまえ、追加しました。  |

松江市伝統文化芸術振興計画（案）に対するご意見と対応

資料 1

| 項目              | 番号 | ご意見  | 対応（案）   |
|-----------------|----|--|---|
| 基本理念<br>⑤文化芸術活動 | 15 | 「各種発表会」を「各種演奏会」または「各種公演」に<br>【理由】<br>「発表会」の言葉にはお稽古ごとのお披露目というニュアンスが強く、「文化芸術活動」とは違う意味に感じられる。その活動自体を否定するものではないが、お稽古ごとの発表会は国民文化祭の開催部門にはなく、また各種助成事業の対象からも外されているので、区別して考えるべきと思う。 | 今回の計画は、趣味として行う活動から本格的に行う活動まで、全てを対象としています。<br>ご意見をふまえ「各種公演、展示、発表会等」に修正しました。    |
| 基本理念<br>⑥拠点施設   | 16 | (1)拠点として必要な施設 → 重要の間違いではないか<br>(2)しいの実シアターなどの「文化」ホール<br>(3)活力を養っています。 → 主語は何か  | (1)貴重なご意見として承りました。<br>(2)ご意見をふまえ追加しました。<br>(3)伝統文化芸術活動を実践し、触れ、学ぶ人たちです。        |
|                 | 17 | 「～行政の責務において維持管理される必要があります」の文章は、建物を維持管理するというだけのイメージになり、市民のためのソフト事業が含まれないため、以下のような文章に訂正していただきたい。<br>「～行政の責務において維持管理され、市民のための良好な運営がなされる必要があります」                               | ご意見をふまえ「維持管理され、良好な運営がなされる必要があります。」に修正しました。<br>市民以外の施設利用もあるため、「市民のための」は割愛しました。 |
| 基本理念<br>⑦松江的景観  | 18 | 「心」の重複<br>「心に深く刻まれ、」は不要では？   | 貴重なご意見として承りました。   |
| 基本理念<br>⑦松江的景観  | 19 | 「宍道湖や日本海に沈む夕陽」の前段に「出雲富士と親しまれる大山山嶺から昇る朝陽」を入れては。   | 宍道湖の直前の記載が「水の都」であり、その直後に山と朝日の表現に違和感があるため、後段に「山の端から昇りまちを照らす朝日」と挿入しました。         |
| めざすべきまちの姿       | 20 | (1)「誰もが」を脚注で説明しているが、こんなに大切なことは本文中で明確に定義すべきだと思う。案の本文では「住民と観光客」と読めてしまいかねない。<br>(2)文化芸術活動<br>市民により～文化芸術活動を誰もが「楽しみながら」推進し、活動者、～。(追加)   | (1)脚注がなくとも「すべての人」を想定していますが、狭義な解釈をされる方のために脚注を加えています。<br>(2)貴重なご意見として承りました。     |
| 計画の体系図          | 21 | 市民とともに育む文化芸術活動 に ・市民美術展 の記載が欲しい。<br>大変重要な活動  | 貴重なご意見として承りました。<br>すばらしい活動であると認識していますが、ご指摘の欄への個別記載は控えさせていただきます。               |
|                 | 22 | 松江市総合計画の図表 2 個性発揮と…の4段目<br>「中海・宍道湖」は知名度からも「宍道湖・中海」では。  | 中海・宍道湖・大山圏域市長会による圏域連携に関する記述箇所であり、順番を変えることはできません。                              |
|                 | 23 | 下の表「市民とともに育む文化芸術活動」の欄に、「市民活動センターの活動」も入れて市民部の関わりを明確にする。   |   |
|                 | 24 | ◇七つの柱の中：市民とともに育む文化活動→文化協会の活動、公民館の活動のみ記載してあります。<br>■文化振興に関わっている団体はたくさんあるので、掘り起こしや共創のまちづくりとしてのパートナーとして認知して支援していく体制づくりをお願いしたいです。  | ご意見をふまえて「市民活動センターの活動」を追加しました。   |

| 項目       | 番号 | ご意見  | 対応（案）   |
|----------|----|--|---|
| 計画の体系図   | 25 | <p>伝統文化芸術の振興に際しては、様々な分野の項目が関わっていく必要があり、総合計画のすべての基本目標の実現につながるように本振興計画を策定します。</p> <p>そうであるならば・・・</p> <p>(1)文化を通して人を大切に育てる視点が必要なのではないか？（文化を通じたまちづくりの視点しか読み取れない印象を受ける）</p> <p>(2)「伝統文化芸術」→文化は権利。「伝統・文化・芸術」と表記することで、文化を選別することなく、すべての市民が享受できる文化力をいかした人づくり、まちづくりという印象が持て、より松江の魅力を発信できるのではないか？</p>   | <p>(1)人がいてこそそのまちづくりであると考えています。また、人づくりは市民の文化力によって支えられていると考えており、昔から培われてきた文化の価値を高めていくのと同時に、新たな文化も育成し、松江のまちの品格を高めていくことが重要であると考えています。</p> <p>(2)本文の中で「伝統文化芸術」について解説を加えました。</p> |
| 取組方針     | 26 | 「松江の伝統文化芸術活動に関心がある者」の重複<br>4行目は削除しても意味は同じ。   | ご意見をふまえ、削除しました。   |
|          | 27 | 「積極的・消極的にかかわらず」なくてもいいのでは？  | 「積極的・消極的にかかわらず」は削除しました。   |
|          | 28 | 「積極的・消極的にかかわらず」 → 「多様な形で」  |   |
|          | 29 | 六つの取組の視点 → 主語がない   | 様々な人がそれぞれの立場で読み取っていただきたいため、明確に記載していません。   |
|          | 30 | 行なう者・ある者などは法律用語であるが威圧的であり（人又は人々か市民）では。   | 条例記載事項の補足説明であるため、この表現を行いました。  |
|          | 31 | 茅葺きの家のたとえがピンとこない   |   |
|          | 32 | 朽ちかけた茅葺きの家とあるのを、田和山遺跡の竪穴住居にしては、原状回復には、コンサルタントの試算で1,700万円掛かるが、これを一人の屋根葺き職人に指導を受けてボランティアで工事をすれば材料代3～400万円と指導者の手当とボランティアの弁当代50万円位で復元でき、さらに風土記の丘などの古代住居の修復のためにもなると思う。これがまさに、1知る、2育てる、3伝える、4創造する、5活用する、6支えるではないか。   | 失われつつある文化として、茅葺きの家を例としました。貴重なご意見として承りました。   |
| 六つの取組の視点 | 33 | <p>■文化は日常生活の中で当たり前の権利として得られるものだという視点が必要</p> <p>「知る」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の中、余暇活動の中で子どもたちが文化に触れることが大切</li> <li>・学校という教育の場以外の広い分野を視野に入れ、松江市内の文化活動を提供できる市民活動団体を活用することで文化に偏りなく乳児から大人まで幅広い世代の市民に提供できる環境が作れる</li> <li>・文化について専門的な知識をもたない学校や公民館に負担が大きくなる</li> <li>・学校や公民館が具体的にどこに事業を委託するのか？</li> <li>・市内に様々なスキルを持つ団体は存在するが学校や公民館がどうやってつながって、よい文化教育ができるのか具体的に知りたい。</li> </ul> | <p>日常的に文化に触れることができる環境はとても重要なことだと考えています。皆様と一緒にどのようにすれば実現できるか検討したいと考えています。</p> <p>貴重なご意見として承りました。実施計画策定時の参考にします。</p>  |
|          | 34 | ①知る<br>生涯教育 → 生涯学習や社会教育では  | 訂正しました。   |

| 項目                        | 番号 | ご意見  | 対応（案）  |
|---------------------------|----|--|--|
| 六つの取組の視点                  | 35 | ④「創造する」<br>価値の創出は、商品開発だけでなく、演劇の題材・テーマとして取り上げたり、サブカルチャーとの連携・連動など、新たな取り組みも考えられると思う。  | ご意見をふまえ「大衆文化や若者文化などのサブカルチャーとの連携・連動」を加えました。   |
| 柱ごとの取組方針                  | 36 | 現状の積極的評価が的確に指摘されている点に好感を持った。概して、欠点や不足点の補充に重点が置かれがちだが、現状の利点をさらに推進する方策などを具体的に示すことも大切なのではないかと（市民アピールとしては弱い）。  | 良いところを更に伸ばすということも大切な視点だと考えます。現状に強みもたくさんありますので、実施計画策定時の参考にします。  |
| 基本施策☆<br>②③④⑤⑦            | 37 | ☆活動者の連携推進に何度も出てくる「誰もが支える仕組みを作る」の意味がよくわからない。  | ご意見をふまえ「みんなで支える仕組みを作る」に修正しました。   |
| 現状と課題<br>①文化財             | 38 | (1)「出雲神話や『出雲国風土記』が残っている…」は、複数項目に類似の表現が見られるので、これらは一つにまとめる。<br>(2)「市史編纂事業により…次第に明らかに…」は、完成した市史の本を詠む限り、相当明らかになってきたと考える。<br>(3)「国宝松江城」→国宝松江城天守<br>(4)多くの観光客を引き付けている。→多くの観光客を魅了している。<br>(5)多くの収蔵施設がある。→松江歴史館などに限られており、収蔵・展示施設は未だ少ない。<br>(6)指定・未指定に関わらず数多くの文化財が豊富に存在している。と記され、初めて未指定文化財が取り込まれたのは、高く評価される。問題はこれらをどう将来へ継承していけるかだ。数年前に市長の声掛けで、公民館単位で「わがこ聞き歩き」を調査したことがある。地域のお宝を抽出し、聞き語りの冊子やガイドパンフ、ゾーン毎の解説板設置の3部作をまとめた。しかし、これを基にどう未来へつなげていくか、その具体的な方策が掴めずに終わっている。この機会にぜひ取り組み方を確定出来ればと願う。地域のお宝である「国屋の地蔵さん」や「おおはか屋の水難者供養塔」、「善光寺の墓塔」など財政支援が無いのでどんどん消滅していく。クラウドファンディングしか無いのか。せっかく、立派な振興計画を作っても、実態とあまりにもかけ離れているのではないかと思う。国際文化観光都市として名実ともに頑張るべきである。主役はあくまでも市民だが、行政は脇役として場や条件の設定、財政面で配慮していただきたい。 | (1)貴重なご意見として承りました。<br>(2)「次第に」を削除しました。<br>(3)訂正しました。<br>(4)「多くの観光客を惹きつけている」に修正しました。<br>(5)「収蔵施設がいくつかある。」に訂正しました。<br>(6)貴重なご意見として承りました。 |
| 現状と課題<br>①文化財<br>②伝統文化    | 39 | 出雲弁は、古くからこの出雲地方に根づいて今も日常的に使用されている。松江市をはじめとして宍道町や出雲市にも保存会が結成されており、各種活動や交流を図っている。時代の移り変わりにより、だんだんと使われる機会が減っている昨今、市民の力で文化財の一つとして復活させてはいかがか。   | ご意見のとおり、出雲弁も一つの文化であり、また、保存・継承の方法は様々あると考えます。  |
| 現状と課題<br>①伝統文化<br>⑤文化芸術活動 | 40 | 文化系専門教諭の不在や高校文化科目の選択制などにより、文化芸術が学校から地域や民間へと移され、習い事化する傾向にある。その結果、住んでいる地域や学校の規模、さらには親の考え方や経済状況により子どもたちの文化体験の質と量の格差が広がっている。   | 貴重なご意見として承りました。<br>⑤文化芸術活動に「芸術鑑賞会などの学習機会は学校等によって様々で、文化芸術を体験する機会に差が生じている。」と記載しました。  |

| 項目              | 番号 | ご意見  | 対応（案）  |
|-----------------|----|--|--|
| 取組内容<br>①文化財    | 41 | ・リノベーションは、大規模な改造を含む修理、修復を意味するので、分かり易く日本語で表現する。<br>・文化財の保存・展示は、廃校舎など使われなくなった既存の公的施設を内部改造し、利活用する。<br>・松江城については、松江市を象徴する代表的な文化財（国宝松江城、史跡松江城）であるので、市役所の機構としても、松江城に特化した「松江城整備部」を設け、観光と城山公園や文化財で所管する複数の体制を一本化して、効率的に運用する。  | 貴重なご意見として承りました。<br>今後の参考とさせていただきます。  |
|                 | 42 | ○松江の歴史や文化の調査・研究を進め～<br>郷土の歴史…昭和・平成の大合併で今の松江市には農家・漁業が中心であった村や町が大きく包括されたが、農林業・漁業に関する資料が既に散逸・廃棄・焼毀されている。今、この資料の蒐集が急務であると思う。   |  |
| 現状と課題<br>②伝統文化  | 43 | (1)共働き世代 → 共働き世帯<br>(2)地域の伝統行事を知らない、体験したことのない子どもが多い。 → 大人も増えている。   | (1)訂正しました。<br>(2)ご意見をふまえ、「地域の伝統行事を知らない、体験したことのない人が増えている。」に修正しました。  |
|                 | 44 | 「宮大工など」に「屋根葺き職人」を追加。宮大工は建設会社として残るが、屋根葺き職人は仕事がなく後継者がいない。  | 貴重なご意見として承りました。参考とさせていただきます。   |
| 取組方針<br>②伝統文化   | 45 | 「子育て世代が子どもと一緒に行事に参加できる地域づくり」は、参加のハードルを下げる意味で良いと思うが、少子高齢化している地域の現状は待たなしの状況。<br>地域で、継承者を育てることや育成を図るシステムを作っているような方針を取組内容では具体的に述べているので、方針も、もう少し踏み込んだ表現であってほしい。<br>「子育てしやすいまち」は、地域の人との交流や、共に伝統行事に参加するというイメージだとは思いますが、子育て環境日本一の実現では、暮らしやすさのイメージが強く、地域の伝統文化を伝えていくことというイメージとの乖離を感じる。 | 貴重なご意見として承りました。<br>「子育て環境日本一の実現」は現在の総合計画に掲げている施策であり、現時点で伝統行事と直接つながっていません。そのため、地域の伝統文化を伝えていくというイメージと乖離しているものと考えます。今後は本計画の記載事項と連携を図って、事業を推進したいと考えています。 |
|                 | 46 | ◎未来を担う次世代“人財”を育てる<br>(1)主語がない。誰が取り組むのか。<br>(2)既に市民の手で、自力で継続している文化活動を支援する視点も必要。<br>◎誰もが活躍できる社会の実現<br>(3)共創による住民と一体となって取り組む。 → 日本語がおかしい。<br>(4)地縁だけではなく、志縁の子ども、子育て支援団体との協働推進   | (1)市の総合計画記載事項であり、市の取組方針となります。<br>(2)貴重なご意見として承りました。<br>(3)「年齢や障がいの有無に関わらず、誰もが地域・社会で活躍できる町を目指し、共創により住民と一体となって取り組む。」に修正しました。<br>(4)貴重なご意見として承りました。     |
| 現状と課題<br>③茶の湯文化 | 47 | (1)また抹茶ラテ？新しい抹茶関連の商品は他にも多くある。<br>(2)松江には…薄茶を嗜む風習が定着して「い」たが ← 脱字<br>(3)ペットボトル飲料などが主流となり…。 → 主流は言い過ぎでは<br>(4)建築物（茶室・庭など）…管理されていないと老朽「化」が進み…。 → 脱字  | (1)前述を削除しました。<br>(2)修正しました。<br>(3)ご意見をふまえ「ペットボトル飲料の普及により」に表現を改めました。<br>(4)修正しました。  |
|                 | 48 | ◎観光文化産業の魅力向上とインバウンド強化<br>環境整備に取組 → 取り組み  | 修正しました。  |

| 項目                | 番号 | ご意見   | 対応（案）  |
|-------------------|----|---|--|
| 現状と課題<br>④小泉八雲    | 49 | 「多文化」は「他文化」では。  | 「他の文化」ではなく、「多様な文化」という意味です。   |
|                   | 50 | （騒音などにより）を（年代の相違）を加えたら。   | ご意見をふまえ修正しました。「小泉八雲が「古い絵巻物」と記した古くからの日本らしい景観と文化が、マンションの建設などにより失われつつある。」「自動車や電気の普及に伴い、八雲が五感で感じた生活文化を体験することが難しくなっている。」  |
|                   | 51 | （騒音などにより）とあるが誰の分析か？ちょっと乱暴   |  |
| 取組内容<br>④小泉八雲     | 52 | ◎誰もが活躍できる社会の実現<br>(1)希望がない → 出番・役割があり<br>◎観光文化産業の魅力向上とインバウンド強化<br>(2)国内外からの観光「誘」客 ← 脱字<br>(3)「○諸外国との～」と「❖諸外国との～」同じことを繰り返しているだけ。   | (1)引用の統一による修正を行いました。<br>(2)訂正しました。<br>(3)ご指摘のとおり繰り返しの表現になりますが、総合計画の施策の展開方針と主要施策の抜粋をしたものです。   |
|                   | 53 | 小泉八雲は小説家、出雲国風土記や古事記はいずれも書物であり、『本』という親しまれた文化に関係する。もっと市民が本に触れる機会を創出する取り組みがあってもよい。<br>計画案ではデジタルデータ化の文言が各柱に記載されている。必要な取り組みと思うが、八雲の怪談はコンテンツビジネスの娯楽ネタではなく、継承すべき文化であるはずだ。選び抜かれた言葉や表現で書き上げられた文章を、そのまま文字で読んでこそ得られる感動があると思う。<br>松江市は文化都市を謳いながら、本に触れる環境が非常に少ないと感じる。図書館も決して利便性が高いとは言えない立地である。この状況でデジタル化だけを進めてしまえば、本の文化は廃れると思う。読書は教養を身に付ける。基礎的な教養があつてこそその文化継承ではないか？<br>例えば市内生徒の読書感想文コンクール開催、図書館利便性向上など、まずは何でも良いので、松江市が読書を推奨する姿勢を示してほしい。<br>最短で目的の情報に辿り着くデジタル情報も便利だが、紙媒体で偶然見つけた情報が有機的に結合することで教養が深みを増すこともある。継承した文化をさらに熟成させていく責任も現代の我々にはあるのではないか。 | 貴重なご意見として承りました。<br>本に触れるということは大切なことと考えています。市は中央図書館が築後33年経過し、改修・移転等検討・判断する時期にきていること、現在の市立図書館には解決すべきいくつかの課題があること、近年、市民ニーズの多様化により、従来の図書館とは異なった多様な機能を持つ図書館が全国各地にできて中、松江市の図書館サービスをより市民ニーズにあったものにするところから、令和元年度に15人の委員と共に図書館のあり方を検討しました。図書館のあり方検討委員会で検討された方針と整合を図りながら、実施計画策定時の参考にします。 |
| めざすべき姿<br>⑤文化芸術活動 | 54 | 「市民により主体的に取り組まれている文化芸術活動を一層推進し、活動者・担い手・指導者・コーディネーター等と共に享受する市民も育ち、文化芸術が花開くまち」<br>【理由】文化芸術活動に市民が主体的に取り組んでいることを推進する市としての姿勢は大いに評価すべきであり、鑑賞する市民も含めて、こうした活動を広めてゆくことが松江市を文化の香り高き街とすることである。   | 貴重なご意見として承りました。下記のとおり修正しました。<br><br>【修正前】市民により主体的に取り組まれている文化芸術活動を誰もが推進し、活動者・担い手・指導者・文化芸術コーディネーター等が育ち、多様性が尊重される、活気あふれるまち  |
|                   | 55 | 「市民が取り組む文化芸術活動を」とすっきりさせてはどうか。   | 【修正後】市民により主体的に取り組まれている文化芸術活動を誰もが一層推進し、活動者・担い手・指導者・文化芸術コーディネーター・享受する人たちが育ち、多様性が尊重される、活気あふれるまち   |
|                   | 56 | ◇提供するものと享受するもの間に企画・運営するものが必要になってくるため、文化芸術コーディネーターという存在を文化条例振興計画でとりあげてあることは素晴らしい。<br>◇松江市が目指す姿に、「文化は権利」、当たり前文化に触れることができるまちづくりという視点が必要。   |  |

| 項目               | 番号 | ご意見   | 対応（案）   |
|------------------|----|---|---|
| 現状と課題<br>⑤文化芸術活動 | 57 | 「…松江市文化協会では…」以降の分野表記は、例示一覧を見ると分かるので、省略しても良いと考える。  | 貴重なご意見として承りました。   |
|                  | 58 | 小原流は松江出身の小原雲心（おはらうんしん）が創始したこともあるので、「松江市文化協会では洋画、日本画～取りまとめている。」の中に「華道」も加えてほしい。   | ご指摘のページには、松江市文化協会の部門のみ記載しています。資料編に松江市文化協会加盟団体を掲載しています。                                      |
|                  | 59 | (1)市民美術展や国際演劇祭など、←「市民文化祭、市民音楽祭、市民美術展、各種コンサートや講演～<br>(2)世界をフィールドとした ← 国内外を（国内での活躍も表現すべき）<br>(3)指導者等の高齢化～イベントの担い手「が」不足や後継者不足～。←「が」不要<br>(4)学校の専門教員の不在や高校の選択科目化を加える<br>以下のように記述を変更する。  | (1)「市民文化祭や市民音楽祭」を加えました。<br>(2)「松江市内にとどまらず、国内外を」に修正しました。<br>(3)削除しました。<br>(4)貴重なご意見として承りました。 |
|                  | 60 | ・松江市では、市民によるオーケストラ、合唱、邦楽、演劇などの活動が盛んで、それぞれの部門の島根県の活動をリードしている。これらの団体には松江市民以外のメンバーも所属することによりその活動を充実させており、その意味からも松江市は文化芸術活動の中心地となっている。<br>・小学校での部活動が行われなくなった今日、市民による団体が少年少女合唱、ジュニアオーケストラ、キッズバンド、バレエなど青少年文化芸術活動を担っているが、これらも松江市の特長である。<br>・松江市文化協会には、洋画、日本画、書道、写真、工芸、洋楽、邦楽、舞踊、演劇、郷土文化、文芸、生活文化、園芸、レクリエーション等、文化芸術の幅広い活動団体が加盟し、それぞれの分野での展示会、演奏会、講演等の活動を行い、その際の施設利用の恩典や助成金を受けている。<br>・国際演劇祭など世界をフィールドにした活動も行われており、市民の支援が定着しているものもある。<br>P25 課題<br>項目の一部を以下のとおり整理する。<br>・人口が減少する中で、各団体の活動を継続・活性化するために構成員を如何に確保するかが大きな課題となっている。特に伝統的な日本音楽（邦楽、邦舞）部門では対策を迫られている。<br>・各団体の指導者が高齢化しており、その後継者をどう育ててゆくかも各団体で考える必要がある。 | 貴重なご意見として承りました。ご意見をふまえ、一部修正しました。<br>実施計画策定時の参考にします。   |
|                  | 61 | 「専門的なアートの世界を目指す人から…」の表記では、「一般の市民には関係ない領域」という印象を与えてしまい、「芸術」から疎遠になってしまう（多くの方はそう認識されているかもしれないが）。例えば「芸術性を深く求める人から…」という表記であれば、市民それぞれの立場や度合いから受け入れられるのではないか。  | 「芸術性を深く求める人から」に修正しました。  |

| 項目                        | 番号 | ご意見  | 対応（案）  |
|---------------------------|----|--|--|
| 現状と課題<br>⑤文化芸術活動          | 62 | 長い歴史の中で古くから使われてきた「出雲弁」。先人が残したこの言葉の文化をこれから若い人や子どもに至るまであらゆる活動を通じて保存継承に努めていく。具体的には、今ある保存会の団体が合同で、出雲弁を話される方々の話しぶりを記録し後世に伝える役割があるのではないかと。そのためには各町にある組織や団体に協力いただき、地域に伝わる独自の言葉や習慣などユニークな発見もあるのではないかと。   | ご意見のとおり、出雲弁も一つの文化であり、また、保存・継承の方法は様々あると考えます。  |
|                           | 63 | 常日頃の練習の成果を観客に披露し、その積み重ねを糧に『技術の向上や心の育成』を目指している。観客、担い手（演奏者）、支援者、指導者がいて充実するのだが、高齢化により特に指導者等の後継者不足を心配している。コロナ禍で在宅の時間が多くなり、高齢者には『現状維持』を保つよう指導している。じっとしていると、あらゆる面で老化が進むことから、高齢者にとって現状維持とは実際はしっかり頑張らなければならないことだと思ふ。<br>会の発足以来続けている演奏会を、原則入場無料でおこなっており、県や市の施設の減免措置には助かっている。収容能力を高めるために、デジタルデータ化を進め、さらなる情報発信が必要と考えている。各種イベント等を通じ誰もが本物の芸術文化に触れる体験や機会を増やし、その魅力に気づく仕組みを強固にしたい！ | 本物の芸術文化に触れる体験や機会により、魅力に気づいてもらう仕組みは大切なことと考えています。皆様と一緒にどのようにすれば実現できるか検討したいと考えています。<br>貴重なご意見として承りました。実施計画策定時の参考にします。 |
| 現状と課題<br>⑤文化芸術活動<br>⑥拠点施設 | 64 | 昔と比べ、金銭的にも時間的にも生活のゆとりがなくなってきた為、有料コンサート等本物の文化芸術に触れる機会が減少している。   |  |
|                           | 65 | “芸術”の価値認識が不足している。<br>子どものころから“芸術”に対する価値を知る活動が少なく、芸術そのものの価値の認識が不足しているのだと思ふ。   |  |
|                           | 66 | ・学校における文化芸術に触れる機会が減少している。<br>・学校における文化芸術の体験格差が拡大している。<br>芸術鑑賞会などの学習機会は学校によって様々だが、意欲ある教員に頼っている状態だと認識している。学校行事の慣例や専門教員の不在により、良い芸術鑑賞会ができなくなっているのではないかと。   | ご意見をふまえ⑤文化芸術活動の課題に「芸術鑑賞会などの学習機会は学校等によって様々で、文化芸術を体験する機会に差が生じている。」を加えました。  |
|                           | 67 | ・文化芸術活動における支援機能が不足している。<br>支援のお願いを聞いてくれたり、活動の機会を提供したり、情報を提供するなどの窓口がよくわからない。たらいまわしにされることがある。  | 貴重なご意見として承りました。<br>庁内の連携体制などの見直しも図りたいと考えています。  |
|                           | 68 | 大学等教育研究機関における芸術（音楽）系の後退（人材育成機関の減少）が大きいと思ふ。   | 貴重なご意見として承りました。  |
|                           | 69 | 芸術活動で生計が立てられるような社会的仕組みが不十分である。   | 貴重なご意見として承りました。<br>六つの取組の視点で検討していければと考えます。   |
| 現状と課題<br>⑤文化芸術活動<br>⑥拠点施設 | 70 | ・一般市民が参加し交流できるイベントが少ない。<br>それぞれのグループでイベントは開催されているが、それぞれのグループでの連携も限界がある。広く市民が気軽に参加できる文化芸術イベントが必要ではないかと。   | 貴重なご意見として承りました。<br>様々なイベントが行われていると思ふますが、情報発信等のあり方について、今後検討してまいります。   |

| 項目                        | 番号 | ご意見   | 対応（案）   |
|---------------------------|----|---|---|
| 現状と課題<br>⑤文化芸術活動<br>⑥拠点施設 | 71 | 松江市における“芸術”に関する情報発信が不足している。松江市のWebサイト検索において、“芸術”のキーワードで検索すると、山陰の各都市と比較すると非常に少ない状況。“文化”に対する“芸術”の検索結果比率と件数は、鳥取市では32%(7000件)に対し、松江市では9%(1560件)だった。また、総合計画では“芸術”というキーワードすら見当たらない。文化の中でも“芸術”のもつ価値が市民にも認識されることが必要である。私たち芸術に関わる者も大いに反省しなければならない。   | 貴重なご意見として承りました。デジタルデータ化及び情報発信の推進を図りたいと考えています。                     |
|                           | 72 | ◎未来を担う次世代“人財”を育てる<br>(1)公民館活動～プログラムを多数提供していく～。←誰が？<br>◎誰もが活躍できる社会の実現<br>(2)住みよい～共創による住民と一体となって取り組む。←日本語がおかしい<br>(3)❖市民・地域交流活動～イベントの開催←推進や支援ではないか？   | (1)市の総合計画記載事項であり、市の取組方針となります。<br>(2)修正しました。<br>(3)貴重なご意見として承りました。 |
|                           | 73 | ◎誰もが活躍できる社会の実現<br>◆地域住民と在住外国人、観光客などが交流する機会の創出<br>ただの観光だけでなく、リピーターからファンへ。地域の人や生活にふれる交流人口、関係人口を大事にしていくまちづくりが大切。そのため、文化施設の特性やその施設ならではの取り組み（「ここ」でなければできない体験・ふれあい）を活かしていくことが必要。  | 貴重なご意見として承りました。大切な視点であると認識しています。実施計画策定の参考にします。                    |
| 取組内容<br>⑤文化芸術活動           | 74 | 全般的に抽象的すぎるので、もう一步踏み込んで「何をどうしたいか」を記載すべき。<br>例えば、子どもから大人までの公民館活動のプログラムを多数提供して浅く広く文化振興を図るのは理想だが、現実的には松江市で特長的な市民文化芸術活動を更に発展させ、それを中心にして裾野を広げる方法が効果的で、松江市らしい文化の振興に繋がると考える。従って、ここには次のような内容の記述が望ましい。（以下「例」）<br>・松江市に特長的な市民文化芸術活動を進展させることによる担い手づくり<br>・市民による青少年文化芸術活動への参加者を増やすための情報提供、ネットワークづくり等の支援<br>・小学生が文化芸術に触れる機会を増やすための教育委員会との連携<br>・各ホールや公民館と市民文化芸術活動団体との連携 | 貴重なご意見として承りました。実施計画策定の参考にします。                                     |
|                           | 75 | ◇文化をただ楽しむことができるまちづくりの視点が必要。上質な文化に触れる機会を増やすことが、未来を担う人材育成になる<br>（後継者育成は多くの文化に触れることで始まる）<br>◇取り組み内容の公民館活動の蓄積について<br>・公民館以外の場で多くの文化活動が行われている。若い世代や地域人希薄な世代が文化を享受できるためには、公民館以外の市民活動団体を視野に入れた取り組みを含めることで、より効率的に事業運営できるのではないか？   | 貴重なご意見として承りました。大切な視点であると認識しています。実施計画策定の参考にします。                    |

| 項目                       | 番号 | ご意見  | 対応（案）  |
|--------------------------|----|--|--|
| 取組内容<br>⑤文化芸術活動<br>⑥拠点施設 | 76 | ・文化芸術教育を軸とした「ひとづくり」の推進<br>文化芸術のもつ力として、小さいときから本物の芸術に触れ体験することにより非認知能力が発達し、人間力の成長を促すとされている。文化芸術活動は、語学や数学など情報処理技能、思考力や表現力など社会的対応力など全ての能力の土台となるとされている。また、現代社会を生き抜くためには、“本物の価値”を見極める力や人間同士の心の繋がりが益々重要になっており、ビジネスにおいても地域社会においてもこのような人材を一層求められる傾向にある。<br><具体的施策（例）><br>・幼児から芸術に触れることができるアートスタート事業の拡大<br>・小中学校向け芸術体験事業の全校への拡大 ～地元出身の芸術家を積極的に活用～<br>・中学高等学校向け音楽系部活動への人材支援 ～学校負担の軽減と地域連携～                               | 貴重なご意見として承りました。<br>【新たな取り組みが必要と考えられる基本施策】「☆魅力に気づく仕組みづくり」にもあるよう、誰もが本物の伝統文化芸術に触れ親しめる環境について、皆様とともに検討したいと考えています。実施計画策定の参考にします。 |
|                          | 77 | 子どもに芸術に触れるきっかけづくりが大切であるとする。小学校などでは年1回は必ず舞台芸術に触れるようにするなどの施策が必要とする。また、芸術は学力向上や人間力の前提となる非認知能力を高めるとされており、子どもたちにバランスの取れた教育環境をつくる必要があるとする。   |  |
|                          | 78 | 文化ホール等に出かけないと質の高い文化芸術に触れる事が出来ないというのではなく、学校や公民館等と連携して、もっと地域の人たちが気軽に文化芸術に触れる事が出来る機会が作られるといいと思う。  |  |
|                          | 79 | ・国際社会に開く「伝統文化芸術のまち」へ<br>国内や海外でも多くの地元出身芸術家が活躍している。また、アマチュア活動でも全国的にトップレベルの作品創作や演奏が可能になりつつある。そうした地元の人材の活躍によって内外の文化芸術交流を促進し、“文化芸術が息づく街”「国際文化観光都市」として内外に認識されることは市民にとって誇りである。また、世界の多様な文化芸術に触れる機会を充実させることは、地域の魅力を再発見することにもつながる。そして、市民における多様性理解の醸成とともに国際社会の安定にも貢献するものとする。<br><具体的施策（例）><br>・地元出身芸術家の成長と、市民ファンを広げる実行委員会支援<br>・ここでしか体験できない文化芸術体験コースのある企画型修学旅行の誘致<br>・地域の自然や伝統文化を題材にした作品創作や出張公演<br>・世界の多様な文化が楽しめる芸術家の誘致 | 貴重なご意見として承りました。<br>【新たな取り組みが必要と考えられる基本施策】「☆魅力に気づく仕組みづくり」にもあるよう、誰もが本物の伝統文化芸術に触れ親しめる環境について、皆様とともに検討したいと考えています。実施計画策定の参考にします。 |
|                          | 80 | どのような家庭環境でも希望すれば音楽に触れることができる場所づくり。   |  |

| 項目                       | 番号 | ご意見   | 対応（案）  |  |
|--------------------------|----|---|--|--|
| 取組内容<br>⑤文化芸術活動<br>⑥拠点施設 | 81 | <p>・文化芸術による新たなコミュニティの創造</p> <p>ひとが生涯心豊かに生きるためには、他者との共感や連帯感が重要です。東日本大震災やコロナ禍における体験は、多くの人がこの重要性を再認識しました。また、ICTやAIの発達する現代社会においては、新しく変化する環境の中で、ひととして生きる意味を考えることがより重要になると考えています。文化芸術は共感によってさまざまなセクタを結び付けることができます。文化芸術活動を行い支えるには、市民個人のみならず、行政、学校、企業など、全てのセクタがその担い手となることが重要です。そうした地域の連携が、より文化力の高いまちに成長させると考えています。</p> <p>&lt;具体的施策（例）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の芸術家や様々な団体や施設と連携・協働する事業</li> <li>・多様なジャンル、全世代が街中で楽しめる「松江市民音楽祭（月間）」バージョンアップ</li> <li>・寄付や企業メセナによる文化芸術活動支援の促進</li> </ul> | <p>貴重なご意見として承りました。連携については沢山のご意見をいただいているところです。【新たな取り組みが必要と考えられる基本施策】「☆活動者の連携推進」や「☆施設の連携推進」について皆様と一緒に検討したいと考えています。実施計画策定の参考にします。</p> |  |
|                          | 82 | 市民が参加しやすいコミュニティの場をつくる（松江市ならではの特性を生かす）   |  |  |
|                          | 83 | 人の確保、つながり、きっかけづくり。それによって心が動く。   |  |  |
|                          | 84 | 地域全体で文化芸術の価値を知り高めることができるような組織を作る。   |  |  |
|                          | 85 | ボランティア活動から繋がりを増やす活動も必要。   |  |  |
|                          | 86 | まずは価値を認識し理解をする人を増やすことから始め、繋がりを通じて地域に広げると良い。   |  |  |
|                          | 87 | 様々な団体・グループ・個人が定期的に意見交換などの交流を行う。   |  |  |
|                          | 88 | 小さい子ども達から 高齢者まで観客を沢山動員できる、多岐にわたる催しがあるとよいと思う。また、参加型のお芝居や、音楽作品、アイデアの沢山つまった 豊かな創作を、プロデュースも含め展開できる 人材が必要だと思う。   |  | <p>貴重なご意見として承りました。連携については沢山のご意見をいただいているところです。【新たな取り組みが必要と考えられる基本施策】「☆活動者の連携推進」や「☆施設の連携推進」について皆様と一緒に検討したいと考えています。実施計画策定の参考にします。</p> |
|                          | 89 | 「松江の文化芸術活動を活性化させたい」と思い、行動できる人がたくさんいること  |  |  |
|                          | 90 | ・世界的音楽家を育てる仕組みづくり   |  |  |
|                          | 91 | 山陰を本拠地とする優秀なアマチュアの演奏団体の技術の向上と、演奏機会を増やす。以前県民会館で開催されていた「愛と地球と競売人」のようなミュージカルを毎年開催する。全国各地のプロフェッショナルなオーケストラ、合唱団などの公演を少なくとも月に1回程度、廉価で開催する。  |  | <p>貴重なご意見として承りました。</p>   |

| 項目             | 番号 | ご意見  | 対応（案）   |
|----------------|----|--|---|
| 現状と課題<br>⑥拠点施設 | 92 | 「施設環境を支持」←維持、の間違いで？  | 訂正しました。   |
|                | 93 | 劇場・音楽堂等についての法律は、いわゆる「劇場法」と「指針」があり、これは、全国の芸術分野の人たちの長い間の思いが実現してつくられたものだ。<br>この法律こそ、これからの時代にふさわしい、選ばれるまちになることが、書かれている。<br>劇場・音楽堂は、人口減、少子化、障がい者、在住外国人、国際交流、芸術祭等にも対応し、子育て・教育・観光・外国人観光客の受入れ、事業実施に必要な人材育成、地域社会の絆の維持及び強化、経営の安定化等に向き合っており、「社会包摂」の精神を持って運営していくことが明記されている。<br>この法律に則って松江市のホール等が運営されれば、これからの時代にふさわしいまちづくりとなり、「国際文化観光都市」70周年に制定する条例と振興計画に相応しいものとなる。<br>劇場や音楽堂は、とかく建物が注目されがちだが、実際には、その劇場や音楽堂でどのような事業が行われているかが重要なのである。<br>分りやすく言えば、美術館という建物も大事だが、美術館の中にどのような絵画が展示されているかがなにより重要なのだ。<br>このように、ハードが適切に維持管理され、ソフトが市民にとって大事なものとなることを願っている。 | 貴重なご意見として承りました。<br>ハードだけの整備ではなく、ソフトの充実を図ることは非常に大切だと考えています。<br>【課題】に「文化芸術に専門的観点から助言する人材、企画プロデュースする人材が不足している。美術館や博物館という学芸員のような人材の配置が望まれる。」を加えました。 |
|                | 94 | ・文化芸術を担う人材の不足<br>文化芸術に専門的観点から助言する人材、企画プロデュースする人材が不足している。美術館や博物館という学芸員のような人材を配置すると良い。   |   |
|                | 95 | 主な文化施設の分類として以下のものがあると認識している。<br><劇場・音楽堂（シアター・ホール）><br><美術館・博物館（ミュージアム）><br><図書館・資料館（ライブラリ）><br><教育施設（エデュケーション）><br><交流施設（コミュニティ）><br>その他、公園、社会福祉施設など<br>そのうち、プラバホール（劇場・音楽堂）は、<br>・大ホールは全国的に音響の良いホールとして知られており、内外の演奏家から高い評価を得ている。<br>・大ホールの施設利用率は全国でも上位であり、著名な演奏家の公演だけでなく、市民の発表の場としても定着している。   | 【現状】に「プラバホールの大ホールは全国的に音響の良いホールとして知られており、内外の演奏家から高い評価を得ている。」を加えました。  |

| 項目             | 番号  | ご意見   | 対応（案）  |
|----------------|-----|---|--|
| 現状と課題<br>⑥拠点施設 | 96  | 項目の中に次の内容を盛り込む。<br>・近年各公民館には広いスペースが整備され、使用されやすくなっている。<br>【理由】従来、公民館は人数の多い活動には不向きだったが、近年新しくなった公民館には広いスペースが確保されており、人数の多い団体も使用しやすくなっている現状がある。<br>課題に次のような内容も盛り込む。<br>・文化を育てるのは「練習場」である。松江市には市民活動団体が多いが、まだ様々なジャンルに対応できるだけの練習場の数が足りない。   | 【現状】に「従来の公民館は人数の多い活動には不向きだったが、近年新しくなった公民館には広いスペースが確保されており、人数の多い団体も使用しやすくなっている。」を加えました。                                     |
|                | 97  | ・来館者の減少と固定化<br>現代社会の様々な要因や情報発信不足などから生の芸術体験や参加意識の低下がみられる。また、芸術鑑賞会においては一部のファンや生活に余裕にある方が比較的多く、本来届けなければならない市民に届いていない。  | 【課題】に「社会経済情勢の変化及び多様化により、来館者の減少と固定化が進んでいる。」を加えました。  |
|                | 98  | ・施設へのアクセスが不十分<br>公共交通網（運行時間）の不足、駐車場不足などにより、来館を諦める人が多い。市の交通政策も含めた総合的な観点からも課題解決に向けて研究していくべき。  | 【課題】に「公共交通機関が不便だったり、駐車場が不十分なため、来館をあきらめる人がいる。」を加えました。   |
|                | 99  | 松江市が合併して広くなり、自分の生活圏の中では移動がしやすいが、プラバホールには駐車スペースが少なく旧郡部からは参加しにくい。地域の近くの施設の活用も検討すべき。   |  |
|                | 100 | ・施設間における交流や連携が少ない<br>プラバホールと県民会館などは連携がされてきているが、市内にある他のホールや施設との連携事業は殆どない。  | 【課題】に「施設間における交流や連携が少ない。」を加えました。  |
| 取組方針<br>⑥拠点施設  | 101 | 以下の2点は何処に記載すべきか良く分からないが、具体的な方策を示すので、基本施策へでも入れて欲しい。<br>・公民館と市民文化芸術活動団体との連携<br>⑤にも記載したが、各公民館がそれぞれの特徴を持って文化芸術活動に取り組みため、公民館ごとにフランチャイズ団体を決め、その団体と連携してウィンウィンとなるような活動を展開する。（例えば公民館が団体の構成員を募集し、会場使用料は無料とするなど）<br>・県施設等との連携<br>松江市には響きの良い小ホールがない。しかし、例えば、島根県立美術館ロビー、ごうぎんカラコ美術館はその代わりとして十分機能する、現にそこで行われた演奏会はいずれも好評だった。ただし、その場合はいずれも「松江市共催」という条件が必要とされた。これらの施設を今後市民文化団体が利用するときに「松江市共催」として提供してもらいやすくする。 | 貴重なご意見として承りました。連携については沢山のご意見をいただいているところで、【新たな取り組みが必要と考えられる基本施策】「☆活動者の連携推進」や「☆施設の連携推進」について皆様と一緒に検討したいと考えています。実施計画策定の参考にします。 |
|                | 102 | 伝統文化芸術と社会や市民とをつなぐ新たなコミュニティを提供し、ひとつり、まちづくりの拠点として活用する。  |  |
| 取組内容<br>⑥拠点施設  | 103 | 施設の連携推進。公立文化施設が有機的につながるソフト、ハードの施策が必要。   |  |
|                | 104 | 伝統文化芸術活動を行う者の連携推進<br>コミュニティの核として各団体の連携や交流を促進し、市民と伝統文化芸術との接点（機会）を広げる活動を推進する。   |  |

松江市伝統文化芸術振興計画（案）に対するご意見と対応

資料 1

| 項目              | 番号  | ご意見   | 対応（案）  |
|-----------------|-----|---|--|
| 取組内容<br>⑥拠点施設   | 105 | 学校へ出かけてコンサートをすることをもっとやったら良いと思う。情操教育は大切。   | 貴重なご意見として承りました。【新たな取り組みが必要と考えられる基本施策】「☆伝統文化芸術に触れる場の提供と適正な管理」について皆様と一緒に検討したいと考えています。実施計画策定の参考にします。                                |
|                 | 106 | ・子供たちの発表の場づくり<br>小中学校コンクールなるものが以前にはあった。現場の先生が大変だということもあってなくなってしまった。あれは子どもたちの成長に必要な場であった。ぜひ再開されてはと思う。  |  |
|                 | 107 | 学校の行事のなかに文化芸術活動を組み合わせる。教育のなかに文化芸術があることがこの先の活動にも繋がり、今の子供たちの親などにも影響していくと思う。   |  |
|                 | 108 | ・伝統文化芸術に触れる機会の提供と適正な管理<br>以下の内容を追加してはどうか。<br>・誰もが文化芸術にアクセスしやすく利用しやすい施設環境の整備<br>・お年寄りの方、経済的に困難な家庭の子ども、障がい者など、様々な状況にある市民においても大きな負担なく安心して利用できるようにすること。       |  |
|                 | 109 | 一部のお客様ではなく、幅広い人が集まる催事を考えたらどうか。例えば、子供向け、学生向け、若者向け、高齢者向けなどターゲットを絞った内容にする。   |  |
|                 | 110 | ◎人材還流と松江暮らしの推進<br>(1)「暮らしやすいまち」～学生と地位の～。←誤字「地域」<br>(2)❖社会教育への転換には触れないか<br>(3)○公共施設カルテにより核施設の～。←誤字「各施設」  | (1)訂正しました。<br>(2)貴重なご意見として承りました。<br>(3)訂正しました。   |
|                 | 111 | 学生と地位のつながりづくり→学生と <u>地域</u> のつながりづくり  | 訂正しました。  |
| 現状と課題<br>⑦松江的景観 | 112 | ジオパークへの言及が弱い  | ご意見をふまえ【現状】に「大陸の分離と日本海の形成などダイナミックな地殻変動の痕跡や、その大地の上に成り立ち古くからの歴史や文化が残る松江市と出雲市をあわせたエリアは、「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」として日本ジオパークに認定されている。」を加えました。 |
| 取組内容<br>⑦松江的景観  | 113 | ○城下町の風情や～ ← 文中に「だけ表記されている。  | 削除しました。  |
| 役割              | 114 | 文化に関わる者の特徴はすべてが鑑賞者であり、担い手でもあるなど重複もある  | ご指摘の通りであると思いますが、それぞれの特徴として表記しました。  |
|                 | 115 | ②文化に関わる者の役割を「文化に関わる人又は市民」では。同じく表の中の者を「人又は市民あるいは人々」では。   | 貴重なご意見として承りました。  |
|                 | 116 | 文化に関わる者の特徴の表に、「市」の役割を入れるべきだと考えます。「市」はそれぞれの主体に対して、どのような協力をするのかわかりやすく表示して頂きたい。例えば、活動施設の提供や、取組を内外に情報発信するためには「市」の役割は大きいはずだ。これでは市は、市民の行う活動に対して消極的な態度と読み取れてしまう。 | 条例において「市の役割」と「文化に関わる者」の役割を分けて記載しています。ご指摘の表については文化に関わる者の特徴として表記しています。   |
|                 | 117 | ◇文化芸術を市民が享受できるよう企画、運営していく人材が必要だと思うが、文化に関わる者の特徴の表のどこにそういった役割を担うものは入るのか？  | 広義にとらえて、伝統文化芸術活動を行なう者の「伝統文化芸術活動の担い手」に含むものと考えます。  |
| 実施計画            | 118 | 六つの取組の視点 知る：機械の充実→機会の充実   | 訂正しました。  |

| 項目     | 番号  | ご意見  | 対応（案）  |
|--------|-----|--|--|
| 実施計画   | 119 | 「七つの柱」の短縮表現のうち、「市民とともに育む文化芸術活動」を「文化芸術活動」と略しては意味が変わってしまう。「市民」をなんとか盛り込めないか。  | 貴重なご意見として承りました。  |
| 事業実施体制 | 120 | 松江出身者や長期在住者だけでなく、松江に越してきたばかりの人や旅行者でも気軽にアクセスできる芸術家のためのハブのような場所がほしい。私も県外から去年越してきた演奏家だが、今のところ誰とも何とも接点を持っておらず、腕を腐らせている。もしそう言った場がすでにあるのであればぜひ周知できるような広報をお願いしたい。   | 貴重なご意見として承りました。情報提供の方法や連携等については、新たな取組が必要と考えられる基本施策として認識しています。今後策定する実施計画の参考とするとともに、ぜひ、ご意見をお聞かせいただき一緒に検討できればと考えています。                                       |
|        | 121 | ・統括的・効率的な文化行政をすすめるためには、担当部門を市長部局に一本化するのがベストと思われるので、その旨の記載をお願いしたい。<br>・「関係団体との連携」は「県・他市町、文化芸術関係団体との連携」とし、幅広く連携することとして欲しい。例えば、全国規模の文化事業を誘致しようとするときは県・市一体となった活動が必要となる。<br>・文化芸術活動の現状がどう変化しているのかを知るには、「審議会」とは別に継続的にそれを見守り続ける見識のある人材が必要であり、そういう人物を配置しておく必要もあると思う。 | 市役所内部の体制については多くのご意見を頂戴しているところです。事業実施体制についてはご意見もふまえて下記のとおり修正しました。<br>○関係部署との定期的な情報共有を行い、市役所内部の連携強化を図る。<br>○文化に関わる者や関係機関との連携強化を図る。<br>○効率的な組織機構の実施体制を検討する。 |
|        | 122 | 松江市の文化行政に関わる機能を再構築し、文化係から課または部のように再編し、効果的な政策を実行しやすくすべきだと考える。これにより、各部門との調整や情報発信の強化にもつながると考える。ひいては市民にとって分かりやすい窓口と支援機能の充実が図れると考える。  |  |
|        | 123 | 市役所の中に「文化芸術コンシェルジュ」（他の分野も）の役職を設ける。活性化の窓口として機能させ、各部局と連携を取れるようにする。   |  |
|        | 124 | 松江文化協会の役割を見直し、文化芸術活動の課題解決につながるような体制を構築すべきだと考える。<br>①各団体の実態、役割等を分析し、新たに分類し直す。<br>②文化協会自体の目指すものを再考する。<br>③文化協会として分野ごとの支援ができる体制を構築する。   | 貴重なご意見として承りました。  |
|        | 125 | 市民音楽祭、市美展、市民体育祭、福祉大会の在り方を今日的に改めるべきだと考える。   |  |
| 資金について | 126 | 文化財の活用事例 二条城「非公開の場所で朝食を食べる」を「朝食を摂る」など別の用語は。  | 「朝食を楽しむ」に修正しました。   |
|        | 127 | 資金の検討に当たっては、確保の観点だけでなく、それを如何に効果的に使用するかという観点も加えるべきと思われる。「メリハリのある資金配分」を盛り込んで欲しい。   | 貴重なご意見として承りました。  |
|        | 128 | 社会的また経済的弱者でも助成や支援を受けられるような手続きや制度などが必要と考える。   | 人口減少社会に突入した今、どのような仕組みで資金を確保するのか、また、効果的な資金の活用について検討が必要と考えています。  |
|        | 129 | 条例づくりをするには、行政が予算措置を講ずることが重要。   | 実施計画策定の参考にします。   |
|        | 130 | 他の自治体がどういった取り組みをおこなっているかを調べて参考にすることは、非常に重要だと思う。  |  |

| 項目               | 番号  | ご意見  | 対応（案）   |
|------------------|-----|--|---|
| 例示一覧             | 131 | <p>(1)古代から近代までの豊富な文化財<br/>歴史資料の中に三条宗近銘太刀とあるが、この太刀は銘が真正の本物であるか、後名であるか不明であり、この欄に載せるべきか如何か、関係者で協議の必要があると思う。（三条宗近は高名であり、偽名の太刀が多くあり慎重に検討されるべき。）</p> <p>(2)茶道の不昧流不昧会の次に「不昧研究会」を追加されるべき。</p>  | <p>(1)市指定（歴史資料）<br/>伝承によると、宍道政慶が毛利氏の命により長州に移る際、宍道の小豆屋へ娘を預け、その証拠として「太刀」と「金襴の打掛」を残したのですが、小豆屋は後に「金襴の打掛」を袈裟に仕立て直し、宍道氏の菩提寺である豊龍寺に寄進し、太刀は小豆屋の子孫に伝わりました。この太刀は、長さ74.2cm、反り3.3cm、元幅3.1cm、先幅1.7cm、重ね（厚さ）0.6cmです。造込みは鑄造、庵棟で身幅はやや細く、小切先となっています。「三条住宗近」の銘が切っており、製作年代は室町時代と考えられています。</p> <p>(2)ご意見をいただいた箇所は松江市文化協会加盟団体を記しています。茶の湯の例示に松江市茶道会加盟流派及び島根県茶道連盟加盟団体として「不昧流研究会」を記載しました。</p> |
| 七つの柱例示           | 132 | <p>松江的景観の例示に「朝陽」を挿入されては。幼少の頃（昭和15年頃）東朝日町で育ち、昇る朝陽を迎え夕陽を母と見送り一日の感謝した。小学生時代は乃木で生活し、祖父母は毎朝、朝陽に手を合わせて一日の無事を祈っていた。今は自宅の二階から朝陽を拝することができ、四季により日の出の位置は変わるが、晴れた朝は一日中幸せを感じる。これも幼い時から祖父母の姿を見ていたからであろう。以前上司が「朝日を拝む人はいるが、夕陽を拝む人は少ない。しかし、夕陽こそ一日の幸せに感謝して翌日再生して朝日となり、人々の幸せな生活を護るのである」と訓示されたのを今も覚えている。それは私の心情と相入れるものが有ったからだ。宍道湖の朝陽・夕陽そしてそれに伴う茜雲これこそが松江の宝だ。</p> | <p>朝日を記載しました。</p>   |
| 柱の例示             | 133 | <p>(1)民族文化財→民俗文化財<br/>(2)名勝地として「嫁ヶ島」を入れる（本年3月に正式に国登録予定と聞く）</p>   | <p>(1)訂正しました。<br/>(2)追加しました。</p>  |
|                  | 134 | <p>(1)無形民俗文化財が無形民族文化財 となっている。<br/>(2)＜文化協会加盟団体＞に記載されている分類が異なる。「新樹社」は【洋画】ではなく【日本画】</p>  | <p>(1)訂正しました。<br/>(2)訂正しました。</p>  |
|                  | 135 | <p>揖「屋」神社 → 揖「夜」神社</p>   | <p>訂正しました。</p>  |
| <p>条例に対するご意見</p> |     |  |   |
| 前文               | 136 | <p>(1)「私たちの先祖は」→「先祖たち」が良いと思う。<br/>先祖だけでは個であり複数の組織であり、先祖たちが良いのでは。<br/>(2)この城下町に「松江」という名前がつけました。のくだりに「諸説があるが、中国の「松江」と景色がよく似ているので名付けられたとの一説 もあります」を付け加えたらどうか。</p>   | <p>貴重なご意見として承りました。</p>  |
| 基本理念<br>⑦松江的景観   | 137 | <p>「宍道湖・堀川・中海等」に「日本海」をいれるべき。</p>   |   |